

令和6年度 第2学年 理科 年間指導計画・評価計画

月	時数	単元	観点別学習状況の評価の観点			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 ～ 7	27	化学変化と原子・分子	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、原子・分子、様々な化学変化、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質の成り立ちや化学変化、質量変化の規則性について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質の成り立ちや化学変化、質量変化の規則性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	タブレット端末 (実験の記録・データの共有)
7 ～ 9	32	生物の体のつくりとはたらき	生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の体のつくりとはたらきや細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりとはたらきや細胞についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 植物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	タブレット端末 (資料の提示等)
1 ～ 3	22	地球の大気と天気の変化	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、雲の発生などについての基本的な概念や原理・法則	気象観測や雲の発生などについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解	気象観測や雲の発生、天気の変化、自然災害などに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりす	タブレット端末 (資料の提示等)

			などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	るなど、科学的に探究しようとしている。	
9 ~ 1	31	電気とその利用	電流や静電気、放射線、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と電気抵抗、電気エネルギー、磁界などについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流や静電気、放射線、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流や静電気、磁界などに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
評価の方法			ア：定期考査、実験レポート、授業内テスト	イ：定期考査、実験レポート	ウ：定期考査、自己分析シート	